

湯の川温泉エリアプロモーション事業実施業務 プロポーザル審査結果

令和8年7月2日に開催した審査委員会において、評価基準に基づき審査を行った結果、評価点の合計が最も高く、得点率の70%を超えた者1者を受託候補者とし、次のとおり決定しました。

企画提案者（3者）

- ・株式会社電通北海道
- ・名鉄観光サービス株式会社函館支店
- ・株式会社サイブリッジ

受託候補者

札幌市中央区大通西5丁目11-1
株式会社電通北海道
代表取締役社長執行役員 木村 平

審査項目	配点	株式会社電通北海道	2位	3位
1. 企画提案に関する項目				
①湯の川温泉エリアの現状と課題を的確に捉え、新しいキャッチコピーである「You know Yunokawa?」を活かした一貫性のあるコンセプトが提案されているか。	100	96	/	
②湯の川温泉エリアの現地リサーチや地域事業者との連携手法および合意形成プロセスが具体的に提案されているか。	75	63		
③SNSプロモーションにおいて、各媒体の特性および各世代の来訪動機の特徴を踏まえた上で、クリエイティブイメージが提案されているか。	50	44		
④UGC創出の仕組みづくりにおいて、自発的に情報を発信したくなるような仕掛けが論理的かつ具体的に提案されているか。	50	44		
⑤実地施策の展開について、各世代のSNS投稿の特性および来訪動機の特徴を的確に捉えた上で、持続可能な実地施策イメージが提案されているか。	50	42		
⑥効果測定において、単なる数値目標の設定に留まらず、各項目における指標の位置づけや目的が整理された上で、適切なKPIが設定されているか。また、当該KPIの妥当性を裏付ける具体的な測定手法が提案されているか。	50	36		
⑦実施スケジュールが、具体的かつ現実的な内容となっているか。	25	22		
2. 提案価格に関する項目				
⑧提案内容が適切に計上されているか。	25	21		
3. 事業者に関する項目				
⑨事業を適切に実施するための専門性を有する人員が配置されているか。また、観光プロモーションやSNS運用、地域活性化事業などにおいて優れた実績を有しているか。	75	72		
合計	500	440	435	345

審査委員会委員

- 金道 泰幸（函館湯の川温泉旅館協同組合 副理事長）
 加藤 隆司（湯川温泉商工親和会 会長）
 矢木 孝（北海道運輸局函館運輸支局 首席運輸企画専門官）
 飯野 智子（函館市観光アドバイザー会議 委員）
 村上 修一（函館商工会議所地域振興課 課長）